

いよいよ大学入試センター試験!! まだまだ伸びる! 直前得点アップ法

3年1組は1月18日(土)19日(日)にセンター試験に挑みます。最後の1日までまだまだ伸びます。諦めてはいけません。今回は入試直前アドバイスです。

①合格後の自分を強烈にイメージし、思い描こう。

この時期、焦りや不安はつきものですが、全国の受験生全員が同じ気持ちです。「自分は絶対に合格できる」と心から信じるのが合格の第一条件です。

本番の試験の傾向や難易度は変わって当たり前。慌てずに問題文をよく読み、今まで解いた問題と同じ考え方が使えないか、落ち着いて考えることです。未知なる試験問題と向き合うのを楽しみに挑戦しましょう。

②成長しているからこそ、スランプになる。

「結果を出したいのに、うまくいかない…」

そんなギャップは、目標のある人にしか起きません。簡単につかめない目標や理想に至るために必死に頑張っている自分を褒めてあげましょう。

模試等の結果でくよくよする時間があるなら、不安を吹き飛ばすくらい、本番に向けて猛勉強することです。

この羅針盤を書いている私も、受験直前11月の模試でまさかのD判定を出しましたが、合格しましたよ。(さらにセンターでも大失敗しましたが、二次で逆転しました。)最後の最後まで諦めない強い気持ちが肝心です。



③マークミスをしないうちに…。

問題番号と解答欄の番号のズレを防ぐアドバイスです。

- ①5問から10問に1回は、解答番号と解答欄が合っているか確かめよう。解答欄がずれてもすぐ直せます。
- ②自信のない問題も、ひとまずマークしよう。その箇所を問題用紙の方にしっかりメモしておきます。空欄をつくるとマークがずれてしまいがちです。時間が余ったときに再度取り組んでみることで、正しい解答を導ける可能性もあります。
- ③「塗りつぶし」と「消す」は丁寧に行おう。マーク欄からはみ出したり、薄かったりすると読み取れないこ

とがあります。また、マークを消す場合、誤って他のマークも消してしまわないよう注意が必要です。

④さらに5点アップさせるためのアドバイス。

英・数・国に関して、先輩からのアドバイスです。

[ベネッセ・駿台データネットより]

【英語の悩み】配点の高い長文から解き始めると時間が足りなくなります。何かいい方法は?

【A先輩の回答：問題文を先に読むのが鉄板!】

本文を読んでから問題に取り組んでいたが、順番を逆にしてみた。先に問題に目を通すことで、本文中のどこに解答の根拠があるか、予想しながら本文を読み進められ、読解と解答、両方のスピードを上げられた。



【B先輩の回答：メモを残しながら本文を読む】

一段落読み進めるごとに、大筋の内容をわかる範囲でメモをした。解答の根拠にすべき場所を見つけやすくなった。答え合わせの時も、本文のどの部分の理解が間違っていたのかすぐわかり、読解力がアップした。

【数学の悩み】模試で数学I・AとII・Bを合計しても100点に届きません…どんな対策を??

【C先輩の回答：教科書をベースに基礎を固めて!】

教科書には簡単な問題がたくさん載っている。特に例題は、公式や概念を使って解けるので、基本の復習になる。基礎が固まっていない分野は教科書を徹底攻略して、とにかく基礎を固め理解を深めるよう心がけた。

【D先輩の回答：模試や定期考査から「苦手」を特定】

今までの模試や定期テストを見直して、苦手分野を洗い出した。対策が不十分だと「他の人は解ける簡単な問題」を間違えてしまう。補強しておけば基礎問題に対応できる可能性が高まるので、点数アップに直結した。

【国語の悩み】「引っかけ」の選択肢にハマりやすい…

【E先輩の回答：本文と選択肢をよく見比べる!】

解答の根拠は必ず本文中にある。少しでも本文と違う点があれば、その選択肢は違う可能性



が高い。選択肢の文章と本文を照らし合わせ、本文に書いていないこと、違っていることがあったら、選択肢のその部分に小さく「×」印をつけよう。解答を絞り込みやすくなる。

【F先輩の回答：筆者の主張を見抜くポイント！】

カンに頼らず、筆者の主張をもとに選択肢を絞ろう。筆者の主張は「…ではないだろうか」「…だと言える」といった形で表されたり、「しかし」「だが」など、逆接の後ろに重要な考えが述べられていたりする。

筆者の主張を見つけたら、その前後の文脈から「主張の根拠」を見つけよう。「なぜなら…」や「…からである」といった表現がヒントになる。見るべき場所さえ間違えなければ、選択肢に迷わなくてすむはず。

得点が伸ばせそうなアドバイスが見つけれましたか？精神的にもキツイ時期がまだまだ続きますね。しかし頑張った先に皆さんだけの「春」が待っています！家族も友達も先生方も、全力で応援していますよ！！

1・2年生へ ～ 絶対 NG！ 先輩が語る、進路選択の後悔体験談

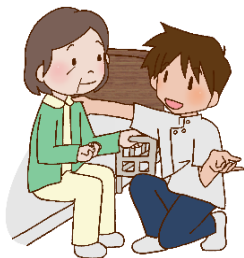
1年生は文理・コース・選択科目等の最終決定を迫られる時期。2年生は進学・就職試験に向けて「3年0学期」です。そんな皆さんへ、これらの分岐点で「失敗した…」と感じた先輩の体験談を3つ紹介します。皆さんはどんなところに注意すべきか、考えてみましょう。

①【進学・就職選択編】卒業後は就職、のつもりが…

「高校を卒業したら就職しよう」となんとなく考えていたところ、高3になって親友が医療系の専門学校へ進むと言った。親友の話聞くにつれ、そんな道があるのか、と僕も次第に興味が出てきた。「これだ！自分にも本当にやりたいことがみつかった！」とうれしくなった。張り切って数学の受験対策も始めた。

しかし…僕の成績では推薦条件を満たせず、一般受験でもかなり厳しかった。複数の学校を受験し、自宅から遠い第3希望の学校には何とか入れたが、経済的負担も大きく、苦勞する結果となった。

後から進路希望が変わったときのために、どんな進路にも対応できる勉強をしておくべきだった。



職へ変わる人も毎年います。就職する場合は「欠席日数（3年間で3日以内が理想）」「部活動」「評定平均値」「生徒会・学級での役員活動」「資格取得」などが重視されるため、1年時からの積み重ねが大きく影響します。

「進路希望は変わることがある」ので、「変わっても対処できるよう、今できることをしっかり取り組む」ことがとても大切です。後で涙を呑むことがないように…。

②【文理選択編】得意・不得意で選んでしまうと…

高1の冬、文系か理系かを決める際、栄養士を考えていること、国公立大を志望していることを先生に相談したところ、「文理どちらに進んでも、栄養士にはなれる」とのこと。私は短絡的に「それなら理系で苦手な化学や数学に苦しむより、文系で得意科目を伸ばそう」と決めてしまいました。しかし、いざ高3になって候補の大学を絞り込んでみると、文系タイプで受験できて栄養士の養成課程がある国公立大は数えるほどしかなく、残りは私立大ばかり。希望の進路を実現できる大学はありませんでした…。受験できる大学をよく調べたうえで、文理を決めるべきでした。



③【志望校選択編】まさか入試で使わないなんて！

私は高3の秋まで、志望校を絞りきれず、どんな大学で入試ではどの科目が課されるのかを十分調べずに過ごしていました。11月になって、やっと志望校を決定。入試科目を調べてみると、苦手克服に時間をかけた数学が、試験に課されないことを知りました。数学に費やした時間を、少しでも別の入試科目に回していれば、とガッカリ…。受験勉強の効率にかかわってくるので、志望校が決まっていなくても、なるべく早く大学の情報を集めるようにしましょう。



いよいよ進路選択の最終チェック。後悔のない選択ができるよう、「今」できることに全力を尽くしましょう。

冬休みは離れている家族や親戚に会える貴重な時間です。スマホとにらめっこせず、多くの人とたくさん話をして、様々な学校や仕事について質問してみましょう。貴重な情報が得られ、充実した冬休みになりますよ。

Have a nice winter vacation!! (^ ^)/

この事例とは逆に、進学のつもりが様々な事情から就